

事務事業名	橋梁長寿命化修繕計画事業		所属部局	建設部	単位番号	7010					
	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		所属課室	道路整備課	課長名	新津 元博					
			所属担当	維持担当	担当者名	時田 一直					
基本政策	基本計画体系	Ⅲ うるおいと利便性のある都市づくり	予算科目	会計 01	名称 一般	款 08	項 02	目 01	細目 030	細々目 04	
政策	11	道路網の整備	事業区分	<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付事業 <input type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> その他の事業 <input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金							
施策	18	生活関連道路の整備									
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 21 年度) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)			法令根拠							
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載			事業費の主な内訳 (25年度 決算見込)							
	道路交通の安全性を確保し、今後増大が見込まれる橋梁の修繕等に要する費用のコスト削減を図るため、橋梁長寿命化修繕計画を策定し、計画に基づき橋梁の修繕等を実施する。(999039<<H24経済対策>>橋梁長寿命化修繕計画事業含む)			項目(細節)		金額(千円)		項目(細節)		金額(千円)	
				報酬		30					
				委託料		36,753					
			工事費		15,938						
							計		52,721		

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と目標

① 活動	橋梁長寿命化修繕計画を策定し、計画に基づき橋梁修繕の設計委託及び修繕等を実施。	⇒	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない								
25年度活動実績	橋梁長寿命化修繕計画に基づき橋梁修繕の設計委託及び修繕等を実施予定。		<table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア点検数</td><td>橋</td></tr> <tr><td>イ策定数</td><td>橋</td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td></tr> </table>	名称	単位	ア点検数	橋	イ策定数	橋	ウ	
名称	単位										
ア点検数	橋										
イ策定数	橋										
ウ											
26年度活動予定			⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない								
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	・道路利用者 ・市民	⇒	<table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア人口</td><td>人</td></tr> <tr><td>イ人口</td><td>人</td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td></tr> </table>	名称	単位	ア人口	人	イ人口	人	ウ	
名称	単位										
ア人口	人										
イ人口	人										
ウ											
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	・橋梁の寿命が長くなる ・安全に橋が通行できる	⇒	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない								
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	・安全な道路環境の確保	⇒	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない								
			<table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア道路整備に関する住民の満足度</td><td>%</td></tr> <tr><td>イ</td><td></td></tr> </table>	名称	単位	ア道路整備に関する住民の満足度	%	イ			
名称	単位										
ア道路整備に関する住民の満足度	%										
イ											

年間トータルコスト		単位	23年度 (決算・実績)	24年度 (決算・実績)	25年度 (決算見込・実績)	26年度 (予算・目標)	27年度 (計画・目標)	28年度 (計画・目標)	最終年度 (トータルコスト・目標)
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	7,700	28,734	31,900	42,295	42,295	
		県支出金	千円						
		地方債	千円			18,300			
		その他	千円						
		一般財源	千円	7,100	23,888	2,521	38,472	38,472	
事業費計(A)		千円	14,800	52,622	52,721	80,767	80,767	0	0
人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2			
	延べ業務時間	時間	30	30	30	30			
	人件費計(B)	千円	137	137	137	137	0	0	0
(A)+(B)		千円	14,937	52,759	52,858	80,904	80,767	0	0
活動指標	ア	橋	66.0	161.0	161.0	161.0	161.0		
	イ	橋	66.0		200.0	200.0	200.0		
対象指標	ア	人	72,984.0	72,900.0	72,181.0	73,000.0	73,000.0		
	イ	人	72,984.0	72,900.0	72,181.0	73,000.0	73,000.0		
成果指標	ア	%	66.0						
	イ	%							
上位成果指標	ア	%	40.7	42.2	38.9				
イ									

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	道路交通の安全性を確保し、今後増大が見込まれる橋梁の修繕等に要する費用のコスト削減を図るため、H24年度から調査を行い、H25年度計画を策定し、事業実施している。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	橋梁の長寿命化が進み安全な橋になる。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	橋梁の長寿命化事業の進捗状況等

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	予算の確保
③ H 25年度に実施した改革改善の内容	予算の確保

事務事業名	橋梁長寿命化修繕計画事業	所属部	建設部	所属課	道路整備課
-------	--------------	-----	-----	-----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？ 意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 橋梁点検により利用者の安全確保を図ることにより貢献している。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 橋梁点検により利用者の安全確保を図るため。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 計画に基づき修繕等を実施し、利用者の安全確保を図るため、妥当である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後さらに事務事業の成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 橋梁長寿命化修繕計画の年度計画の基き事業実施していくため、向上の余地はない。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入！) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 危険性の事なので出来ない <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 危険性の事なので出来ない
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 橋梁長寿命化修繕計画の年度計画の基き事業実施していくため、削減の余地はない。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 現在の状況でも人員不足の状況であるため削減の余地はない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 利用者の安全確保のため、市ですべき事業なので公平・公正である。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	今年度、橋梁長寿命化修繕計画を策定したがし、市内には非常に多くの橋梁があり建設してから長い年数を経過している危険な橋梁も数多くあることを認識している。今後、本計画に基づき計画的に改修及び修繕を実施していく必要がある。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5) 事務事業優先度評価結果 平成25年度																					
	<table border="1"> <tr> <td>成果優先度評価結果</td> <td>⑩</td> </tr> <tr> <td>コスト削減優先度評価結果</td> <td>⑥</td> </tr> </table>	成果優先度評価結果	⑩	コスト削減優先度評価結果	⑥																	
成果優先度評価結果	⑩																					
コスト削減優先度評価結果	⑥																					